



2022年10月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年12月9日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ソフトウェア・サービス

コード番号 3733 URL <https://www.softs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 宮崎 勝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長

(氏名) 伊藤 純一郎

TEL 06-6350-7222

定時株主総会開催予定日 2023年1月20日

配当支払開始予定日

2023年1月23日

有価証券報告書提出予定日 2023年1月23日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年10月期の連結業績(2021年11月1日～2022年10月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年10月期	27,569	9.1	4,853	13.4	4,909	13.2	3,399	13.4
2021年10月期	25,276	23.3	4,281	27.7	4,338	27.4	2,998	27.8

(注) 包括利益 2022年10月期 3,413百万円 (11.9%) 2021年10月期 3,050百万円 (30.5%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年10月期	628.54	—	12.8	15.0	17.6
2021年10月期	551.80	—	12.2	14.7	16.9

(参考) 持分法投資損益 2022年10月期 一百万円 2021年10月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年10月期	33,734	27,266	80.8	5,214.02
2021年10月期	31,580	25,815	81.7	4,751.95

(参考) 自己資本 2022年10月期 27,266百万円 2021年10月期 25,815百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年10月期	3,329	△3,443	△1,870	5,105
2021年10月期	3,380	△2,130	△532	7,089

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年10月期	—	0.00	—	95.00	95.00	516	17.2	2.1
2022年10月期	—	0.00	—	100.00	100.00	522	15.9	2.0
2023年10月期(予想)	—	0.00	—	110.00	110.00		15.6	

3. 2023年10月期の連結業績予想(2022年11月1日～2023年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	16,518	25.0	3,238	17.8	3,259	18.0	2,257	18.6	417.43
通期	30,436	10.4	5,439	12.1	5,508	12.2	3,816	12.3	705.55

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2022年10月期	5,488,000 株	2021年10月期	5,488,000 株
2022年10月期	258,539 株	2021年10月期	55,370 株
2022年10月期	5,408,536 株	2021年10月期	5,434,785 株

(参考)個別業績の概要

1. 2022年10月期の個別業績(2021年11月1日～2022年10月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年10月期	26,183	8.4	4,645	13.2	4,700	13.2	3,256	13.0
2021年10月期	24,150	17.8	4,101	22.0	4,153	21.6	2,880	22.3

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年10月期	602.10	—
2021年10月期	530.07	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%		円 銭	%
2022年10月期	33,172		27,010	81.4		5,165.14	
2021年10月期	31,004		25,693	82.9		4,729.53	

(参考) 自己資本 2022年10月期 27,010百万円 2021年10月期 25,693百万円

2. 2023年10月期の個別業績予想(2022年11月1日～2023年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,799	25.2	2,834	6.7	1,966	7.2	363.68
通期	29,000	10.8	5,300	12.8	3,678	13.0	680.07

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載の業績見通し等の将来に関する記述は、現在入手している情報による判断及び仮定に基づいており、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績等は、様々な要素によりこれら業績見通し等とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績等に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向などが含まれます。ただし、業績等に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11
4. その他	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、ウィズコロナへのシフトが進み、景気の持ち直しが期待されております。一方、世界的なインフレ圧力や原油等の資源価格の上昇などにより、世界経済の減速による下振れリスクがあるなど依然として先行き不透明な状況が続いております。

医療業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、医療機関の役割分担・連携体制の構築において課題が浮き彫りとなりました。今年4月には診療報酬改定が実施され、政策としてもオンライン診療・服薬指導等を推進するなど、ICTの活用を通じた効率的・効果的な医療提供体制、診療の在り方が検討されております。

医療情報システム市場におきましては、本年10月に医療分野のデジタル化の推進をめざす「医療DX推進本部」が設置され、電子カルテの重要性が改めて認識されました。その中核となる医療情報システムの普及拡大はますます進むものと考えられます。また、既に医療情報システムを導入している医療機関等でのリプレイス市場も活発化してきており、引き続き医療情報システム市場における競争は激しさを増しております。

当社グループにおきましては電子カルテシステムをはじめとする医療情報システムの開発・販売・導入・保守を中心に事業展開し、顧客満足度の向上に努めてまいりました。さらに、2022年6月6日より東京支社が稼働し、今後は関東圏への営業・保守体制の強化を図ってまいります。

当連結会計年度におきましては、感染症対策の徹底やリモートでの導入作業等を進めたこともあり、新型コロナウイルス感染症の業績への影響は軽微となりました。

そのような中、前期末の豊富な受注残に加え、期中での受注も高水準であったことから、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益のいずれにおきましても前年同期比で増収増益となりました。

この結果、売上高は27,569百万円（前年同期比9.1%増）、受注高は21,871百万円（同7.3%増）、受注残高は8,730百万円（同21.7%増）となり、利益面におきましては営業利益4,853百万円（同13.4%増）、経常利益4,909百万円（同13.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益3,399百万円（同13.4%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末と比較して2,154百万円増加し、33,734百万円となりました。主な要因は、現金及び預金1,982百万円の減少、受取手形及び売掛金1,246百万円の増加、有価証券1,000百万円の増加、棚卸資産249百万円の減少及び有形固定資産2,137百万円の増加であります。

(負債)

当連結会計年度末の負債は、前連結会計年度末と比較して703百万円増加し、6,468百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金1,458百万円の増加、短期借入金100百万円の増加、未払金140百万円の減少、未払法人税等290百万円の減少、未払消費税等377百万円の減少及び預り金79百万円の減少によるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末と比較して1,450百万円増加し、27,266百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益3,399百万円の計上、剰余金の配当516百万円の支払及び自己株式の取得1,452百万円の支払によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、5,105百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、3,329百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益4,909百万円、減価償却費398百万円、売上債権増加額1,246百万円、棚卸資産減少額249百万円、仕入債務増加額1,458百万円、利息及び配当金の受取額35百万円及び法人税等の支払額1,814百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、3,443百万円となりました。これは主に、有価証券の取得による支出2,000百万円、有価証券の償還による収入1,000百万円、有形固定資産の取得による支出2,476百万円、定期預金の預入による支出101百万円及び定期預金の払戻による収入100百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1,870百万円となりました。これは主に、短期借入金の純増額100百万円、自己株式の取得による支出1,452百万円及び配当金の支払額517百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	第51期 2019年10月期	第52期 2020年10月期	第53期 2021年10月期	第54期 2022年10月期
株主資本比率 (%)	84.4	84.9	81.7	80.8
時価ベースの自己資本比率 (%)	250.6	222.8	123.7	127.6

(注1) 第52期が連結初年度であり、第51期の指標においては連結子会社の業績は含まれておりません。

(注2) 上記の指標の計算式は以下の通りであります。

株主資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

(4) 今後の見通し

医療業界におきましては、新型コロナウイルス感染症への対応を通して、外来・入院・在宅にわたる医療機能の分化・強化と連携を図ることにより、地域医療全体を視野に入れて必要な医療を連携やネットワークにより提供していくことの重要性が改めて認識されております。

一方で、少子高齢化も着実に進みつつあり、将来を見据えた医療提供体制を構築するため、「地域医療・介護連携」、「医療従事者の負担軽減」及び「医者等の働き方改革の推進」が重要課題とされており、ICT等を活用した医療分野のDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進し、新しい診療の在り方が模索されております。

これらの要因は、その中核となる医療情報システムの普及拡大をますます進めるものと考えられます。また、既に電子カルテシステムを導入している医療機関等へのリプレイス市場の拡大も見込まれ、今後も確固たる立場を確保するため注力してまいります。

こうした事業環境の下、引き続きお客様のシステム化のニーズをいち早くとらえ、満足を提供できるシステムの開発、既存ユーザーに対しても安心して使っていただける保守体制の強化、ユーザーコミュニケーションを通じての信頼関係の強化及び共存共栄の関係を構築し、安定した医療サービス提供の支援をすることで社会に貢献してまいります。

次期の業績につきましては、上記の要因に加え、次期に向けて受注残高も高水準であり、また、保守サービス等のストック収益も着実に伸びていることから、売上高30,436百万円（前年同期比10.4%増）、営業利益5,439百万円（同12.1%増）、経常利益5,508百万円（同12.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益3,816百万円（同12.3%増）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、現在、日本国内において事業を展開していることなどから、当面は日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年10月31日)	当連結会計年度 (2022年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,216,186	5,233,713
受取手形及び売掛金	4,195,482	5,442,456
有価証券	-	1,000,000
商品	1,027,514	858,137
仕掛品	404,671	324,971
前払費用	222,074	223,976
その他	88,998	190,795
貸倒引当金	△4,139	△5,417
流動資産合計	13,150,790	13,268,633
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,574,244	10,031,206
減価償却累計額	△2,123,534	△2,427,791
建物及び構築物 (純額)	2,450,710	7,603,414
機械及び装置	2,900	2,900
減価償却累計額	△1,691	△1,833
機械及び装置 (純額)	1,208	1,066
工具、器具及び備品	915,376	1,099,996
減価償却累計額	△740,059	△807,155
工具、器具及び備品 (純額)	175,316	292,840
土地	11,616,534	11,616,786
建設仮勘定	3,133,100	-
有形固定資産合計	17,376,870	19,514,106
無形固定資産	23,175	22,452
投資その他の資産		
投資有価証券	256,862	283,818
長期貸付金	11,064	-
長期前払費用	145,565	42,847
繰延税金資産	529,132	542,975
その他	87,003	59,992
投資その他の資産合計	1,029,628	929,634
固定資産合計	18,429,674	20,466,193
資産合計	31,580,465	33,734,826

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年10月31日)	当連結会計年度 (2022年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,892,115	4,350,129
短期借入金	-	100,000
未払金	792,173	651,597
未払費用	140,174	132,255
未払法人税等	1,117,011	826,608
未払消費税等	377,606	-
前受金	237,922	278,078
預り金	131,581	51,884
その他	3,397	5,619
流動負債合計	5,691,981	6,396,173
固定負債		
退職給付に係る負債	72,872	72,117
固定負債合計	72,872	72,117
負債合計	5,764,854	6,468,291
純資産の部		
株主資本		
資本金	847,400	847,400
資本剰余金	1,916,827	1,921,497
利益剰余金	23,025,264	25,908,669
自己株式	△74,736	△1,525,947
株主資本合計	25,714,755	27,151,619
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	100,854	114,915
その他の包括利益累計額合計	100,854	114,915
純資産合計	25,815,610	27,266,535
負債純資産合計	31,580,465	33,734,826

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年11月 1 日 至 2021年10月31日)	当連結会計年度 (自 2021年11月 1 日 至 2022年10月31日)
売上高	25,276,963	27,569,963
売上原価	18,564,541	20,253,758
売上総利益	6,712,422	7,316,204
販売費及び一般管理費	2,431,058	2,462,314
営業利益	4,281,363	4,853,890
営業外収益		
受取利息	357	343
有価証券利息	-	756
受取配当金	39,083	34,269
受取事務手数料	9,490	9,490
受取賃貸料	8,656	12,596
その他	9,774	9,360
営業外収益合計	67,362	66,816
営業外費用		
譲渡制限付株式関連費用	10,249	7,310
雑損失	360	3,619
営業外費用合計	10,609	10,929
経常利益	4,338,115	4,909,777
特別損失		
投資有価証券売却損	2,957	-
特別損失合計	2,957	-
税金等調整前当期純利益	4,335,158	4,909,777
法人税、住民税及び事業税	1,540,012	1,529,720
法人税等調整額	△203,751	△19,447
法人税等合計	1,336,260	1,510,272
当期純利益	2,998,897	3,399,504
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	2,998,897	3,399,504

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年11月 1 日 至 2021年10月31日)	当連結会計年度 (自 2021年11月 1 日 至 2022年10月31日)
当期純利益	2,998,897	3,399,504
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51,476	14,061
その他の包括利益合計	51,476	14,061
包括利益	3,050,374	3,413,566
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,050,374	3,413,566
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	847,400	1,916,827	20,488,461	△73,924	23,178,764
当期変動額					
剰余金の配当			△462,094		△462,094
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,998,897		2,998,897
自己株式の取得				△811	△811
自己株式の処分					
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	2,536,803	△811	2,535,991
当期末残高	847,400	1,916,827	23,025,264	△74,736	25,714,755

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	49,378	49,378	23,228,142
当期変動額			
剰余金の配当			△462,094
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,998,897
自己株式の取得			△811
自己株式の処分			-
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	51,476	51,476	51,476
当期変動額合計	51,476	51,476	2,587,468
当期末残高	100,854	100,854	25,815,610

当連結会計年度(自 2021年11月1日 至 2022年10月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	847,400	1,916,827	23,025,264	△74,736	25,714,755
当期変動額					
剰余金の配当			△516,099		△516,099
親会社株主に帰属する 当期純利益			3,399,504		3,399,504
自己株式の取得				△1,452,521	△1,452,521
自己株式の処分		4,670		1,310	5,980
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	4,670	2,883,405	△1,451,211	1,436,863
当期末残高	847,400	1,921,497	25,908,669	△1,525,947	27,151,619

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	100,854	100,854	25,815,610
当期変動額			
剰余金の配当			△516,099
親会社株主に帰属する 当期純利益			3,399,504
自己株式の取得			△1,452,521
自己株式の処分			5,980
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	14,061	14,061	14,061
当期変動額合計	14,061	14,061	1,450,924
当期末残高	114,915	114,915	27,266,535

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)	当連結会計年度 (自 2021年11月1日 至 2022年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,335,158	4,909,777
減価償却費	245,090	398,041
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,051	1,278
受取利息及び受取配当金	△39,440	△35,369
投資有価証券売却損益 (△は益)	2,957	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,083,511	△1,246,974
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△454,972	249,077
仕入債務の増減額 (△は減少)	465,835	1,458,013
未払消費税等の増減額 (△は減少)	39,260	△377,606
前受金の増減額 (△は減少)	4,795	40,156
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	565,420	△263,366
その他	191,669	△24,194
小計	4,273,315	5,108,834
利息及び配当金の受取額	39,146	35,193
法人税等の支払額	△932,066	△1,814,265
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,380,395	3,329,763
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	-	△2,000,000
有価証券の償還による収入	-	1,000,000
有形固定資産の取得による支出	△2,107,375	△2,476,736
無形固定資産の取得による支出	△2,433	△9,151
定期預金の預入による支出	△101,202	△101,200
定期預金の払戻による収入	100,000	100,000
投資有価証券の取得による支出	△3,089	△3,147
投資有価証券の売却による収入	3,873	-
短期貸付けによる支出	△20,000	-
短期貸付金の回収による収入	-	20,000
その他	167	27,011
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,130,059	△3,443,224
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△70,000	100,000
自己株式の取得による支出	△811	△1,452,521
配当金の支払額	△461,703	△517,690
財務活動によるキャッシュ・フロー	△532,515	△1,870,211
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	717,821	△1,983,673
現金及び現金同等物の期首残高	6,371,549	7,089,370
現金及び現金同等物の期末残高	7,089,370	5,105,696

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当連結会計年度の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前連結会計年度(自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)

当社グループは、医療情報システム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2021年11月1日 至 2022年10月31日)

当社グループは、医療情報システム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

	ソフトウェア (千円)	ハードウェア (千円)	保守サービス (千円)	その他 (千円)	合計 (千円)
外部顧客への 売上高	7,556,776	10,029,154	6,564,705	1,126,328	25,276,963

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度 (自 2021年11月1日 至 2022年10月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

	ソフトウェア (千円)	ハードウェア (千円)	保守サービス (千円)	その他 (千円)	合計 (千円)
外部顧客への 売上高	8,196,043	10,731,953	7,255,752	1,386,214	27,569,963

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)	当連結会計年度 (自 2021年11月1日 至 2022年10月31日)
1株当たり純資産額	4,751円95銭	5,214円02銭
1株当たり当期純利益	551円80銭	628円54銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	—	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年11月1日 至 2021年10月31日)	当連結会計年度 (自 2021年11月1日 至 2022年10月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	2,998,897	3,399,504
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	2,998,897	3,399,504
普通株式の期中平均株式数 (千株)	5,434	5,408

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

①ハードウェア仕入実績

種類	当連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年10月31日)	
	仕入高 (千円)	前年同期増減率 (%)
ハードウェア	8,990,399	△0.1
合計	8,990,399	△0.1

②受注実績

種類	当連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年10月31日)			
	受注高 (千円)	前年同期増減率 (%)	受注残高 (千円)	前年同期増減率 (%)
ソフトウェア	8,805,767	5.6	3,643,932	20.1
ハードウェア	11,745,450	8.0	4,887,702	26.2
その他	1,319,860	14.3	198,791	△25.0
合計	21,871,078	7.3	8,730,426	21.7

③販売実績

種類	当連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年10月31日)	
	販売高 (千円)	前年同期増減率 (%)
ソフトウェア	8,196,043	8.5
ハードウェア	10,731,953	7.0
保守サービス	7,255,752	10.5
その他	1,386,214	23.1
合計	27,569,963	9.1